

Society, Studies, Scholars of
NAKATSU



唐蘭船持渡鳥獸之図
(慶應義塾図書館)

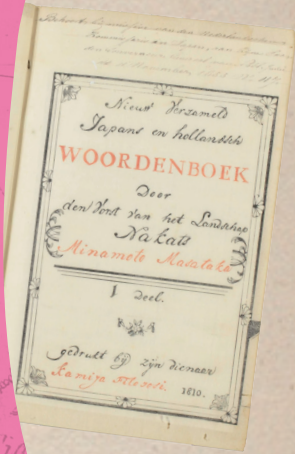


解体新書

凝る勿れ 学問に

中津の社会・学問・学者たち

令和6年度
特別展



蘭語訳撰

先立其大者

伊藤東涯書(慶應義塾)

ベル築城書
(慶應義塾福澤研究センター)

2024.12.21(土) > 2025.2.9(日)

開館時間: 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 月曜日(祝日の場合はその翌日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料: 一般300円、団体100円(20人以上)、
中学生以下無料、障がい者割引有

後援: 慶應義塾



中津市歴史博物館

渡辺重名肖像
(個人)

辛島正庵肖像
(個人、大分県立
先哲史料館寄託)





なかに 学問に凝る勿れ



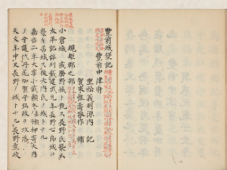
2024.12.21(土) > 2025.2.9(日)

福澤諭吉は著書「学問のすゝめ」において、近代化には国民が実用の学問を学び、身分差別をなくし、個人と国家が独立することが重要であると説きました。福澤の学問への姿勢は長崎での蘭学修行や適塾、欧米での経験によるところが大きいです。少年期に中津藩で学んだ漢学の素地も見逃すことはできません。中津では藩校・進脩館にて漢学中心の教育が行われ、一方で渡辺重名・重春らの国学、前野良沢・神谷源内・村上玄水が牽引した蘭学、近代化を担った人材を育てた中津市学校での洋学など、多様な学問が開花しました。奥平家の庇護によって、学者たちは江戸や京都で学び、学者・文化人間のネットワークを形成し、幕末になると、藩士の思想に大きな影響を与えました。本展覧会では福澤諭吉や近代までつながる中津の学問の系譜を、著作や蔵書、書画作品などから紹介します。



国宝 秋草文壺

(慶應義塾、東京国立博物館寄託)



豊前城堡記(龍谷大学図書館)



通々齋塾姓名録(日本学士院)



賀茂真淵自筆稿本 祝詞考(慶應義塾大学斯道文庫)



福澤百助旧蔵 上諭条例(慶應義塾図書館)

イベント 予約は中津市歴史博物館まで 令和6年11月21日(木)より受付開始

要予約 定員:70名 参加費無料

記念講演・ディスカッション
「中津の学問—漢学×国学」

講師

一戸 渉 (慶應義塾大学斯道文庫教授)
吉田 洋一 (久留米大学文学部教授)

令和6年12月22日(日) 13:30~16:30

場所:新中津市学校

要予約 定員:各回10名 参加費無料

江戸時代の教科書に触れよう!
～和装本ワークショップ～

令和7年1月25日(土)

①10:00~11:00 ②14:00~15:00

場所:中津市歴史博物館

※小学生以下は保護者同伴

事前申込不要 要入館料

ギャラリートーク

第一回 令和7年1月26日(日) 11:00~12:00

第二回 令和7年2月9日(日) 11:00~12:00

場所:中津市歴史博物館(展示室内)

事前申込不要 参加費無料

福澤諭吉の字を書こう!
「独立自尊」書初め

令和7年1月4日(土)~12日(日) 開館時間に準じる

場所:中津市歴史博物館



中津市歴史博物館

〒871-0057 大分県中津市1290番地(三ノ丁)

TEL(0979)23-8615 / FAX(0979)23-8616

開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで) / 駐車場:22台

休館日:毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始(12月29日~1月3日)



<http://nakahaku.jp>